

## 公益社団法人 日本ライフル射撃協会認定コーチ制度要項

### 第1条（趣旨）

2013年2月に公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下日ラ）の選手強化本部は、メダルポテンシャルアスリート部会（現ジュニア育成委員会）を発足させ、一貫した選手強化システムを構築した。システムを機能させるには、指導者の育成が不可欠と考え、2014年に「NRA J認定コーチ制度」を立ち上げ、指導者の育成とともにジュニアの発掘と強化を進めてきた。

近年、選手、指導者の不祥事が相次ぎ、競技団体は単に選手の競技力向上の指導だけでなく、選手や指導者の人間力向上の役割も求められるようになった。本制度の改定は、選手、指導者の人間力向上を目的にインテグリティ教育を導入するものである。これにより銃砲を扱う競技団体として、他の範となるべき高いインテグリティを有する団体を目指す。

### 第2条（目的）

本制度は、次の事項の達成をはかることを目的とする。  
人間力と競技力を兼ね備えたライフル射撃選手を発掘育成できる指導者を養成するためのシステムを構築し、ライフル射撃スポーツの普及と発展に資する。

### 第3条（認定コーチの職責）

- （1） 法令を遵守することはもとより、日ラのインテグリティ教育プログラムに基づき、対象選手を指導し、スポーツマンとしての健全な精神を宿した人間力ある選手に育成する。
- （2） 専任コーチングディレクターの指導理念、指導方法に基づき対象選手を指導し競技力の向上に努める。
- （3） 身につけたライフル射撃指導の知識を活かし、タレント発掘及び育成を行う。
- （4） 日ラの強化事業（国内外の合宿及び競技会派遣）、発掘普及事業（普及助成対象事業及びハブ事業）の指導者（団長を除く総務系帯同者も含む）は認定コーチより選任されなければならない。

### 第4条（NRA J認定コーチにおける共通要件）

各級の認定コーチにおける共通要件は以下の通り。

- （1） 満22歳以上で、日ラ会員であること。
- （2） 日ラ加盟団体の推薦を受けた者。

第5条（NRAJ認定コーチの分類及び各級の要件等）

	C級	B級	A級
経験要件	競技歴3年以上又は指導歴2年以上	①競技歴及び指導歴合計で5年以上（*1） ②C級コーチ指導実績2年以上 ③JSP O公認コーチ3以上の資格保有者	B級コーチとして高い指導実績あり
資格取得講習			
集合講習	3日（*2）	JSP O公認 コーチ養成講習会 （共通科目）（5日間） （*3）	1日（予定）
eラーニング*	事前学習、 事後学習及び レポート提出		全動画を視聴修了
資格更新講習			
集合講習	資格更新時 （4年度に1回）に受講 （A級コーチが更新 講習会を実施可能）	JSP O共通科目 更新研修受講	更新講習の頻度は 現時点で未定
eラーニング*	必須動画視聴、インテグリティ関連課題修了（毎年度）（*4）		
備考	（*5）	国体監督の 必須要件 （2020年4月1日 より適用）	（*6） ライフルコーチ・ピストルコーチに分類 （両方のコーチ資格を取得可）

（\*1）同一期間において競技歴と指導歴の重複計上は行わない。

（\*2）JSP O公認ライフル射撃コーチ3養成講習会（専門科目）を兼ねて開催する。

（\*3）NRAJ認定C級コーチ資格保有者がJSP O公認コーチ3資格を取得する場合は、専門科目の受講は不要となる。共通科目を受講修了することによりJSP O公認コーチ3資格を取得出来、また所属団体の推薦によりNRAJ認定B級コーチ資格を取得出来る。

（\*4）毎年3月15日までに日ラeラーニングにおける必須講習（含むインテグリティ）全てを修了することとする。修了しなかった場合は4月1日付で認定コーチ資格を停止し、日ラHPに掲載する認定コーチ一覧から削除する。資格停止後、日ラeラーニングにおける必須講習を修了することにより再びNRAJコーチに認定される。尚、資格停止期間中も、

認定料の支払を要する。

- (\*5) 競技力又は指導力において特に優れた会員については、加盟団体からの推薦により指導者育成部会の審査を経て、日ラインテグリティ教育プログラム以外の資格取得講習会の受講を免除する。（例：オリンピック、職業指導者、高い指導実績を有する者）
- (\*6) B級コーチの中から、高い指導実績を有している者を、所属団体又は指導者育成部会が選定の上、指導者育成部会が開催するA級コーチ向け集合研修を受講修了した後に、理事会の承認を得て認定する。
- (\*7) S級コーチは、選手強化委員会が選任する者を認定する。

#### 第6条（資格の停止）

以下の条件のいずれかに該当する場合、資格を停止する。

- (1) 日ラ会員で無くなった者。
- (2) 日ラ指導方針に反した者。
- (3) 倫理規定に違反した者。

#### 第7条（移行措置）

旧制度におけるNRA J認定コーチ及びJSPO公認コーチから新制度への等級について以下の通り移行する。

- (1) 旧C級コーチは、直ちに新C級コーチに移行し、公認期限は2023年度末とする。
- (2) 旧B級コーチは、直ちに新B級コーチに移行し、公認期限は2023年度末とする。  
JSPO公認スポーツ指導者制度における公認コーチ以上の資格を取得していない場合は、可及的速やかにJSPO公認スポーツ指導者制度におけるコーチ3以上の資格を取得するものとする。
- (3) 2019年以前にJSPO公認スポーツ指導者制度における公認ライフル射撃コーチの資格を取得した日ラ会員は、加盟団体からの推薦を受けた上で、日ラインテグリティ教育プログラムを受講することにより新B級コーチ資格を取得できる。  
但し、JSPO公認スポーツ指導者資格取得講習会受講修了後又はNRA J新旧C級コーチ資格取得後、指導実績が2年未満の場合は、一旦新C級コーチに認定の上、2年経過後にB級に認定する。

#### 第8条（選手に対するインテグリティ教育の実施）

本制度の趣旨は選手、指導者の人間力向上を目的にインテグリティ教育を導入することである。指導者を通して選手に対し間接的なインテグリティ教育を行なうだけでなく、指導者のいない選手に対してインテグリティ教育を担保するため、選手に対してもインテグリティ教育を実施する。

- (1) 日ラ主催試合に出場する選手は、NRA J認定コーチが開催するインテグリティ講習会を受講することを必須とする。（2020年4月1日より適用実施する）

- (2) JOC強化指定選手で、JOCインテグリティ教育プログラムを受講修了した者は、選手向けインテグリティ講習会を受講済みと見做す。
- (3) NRA J認定コーチの資格取得講習における事前学習又は資格更新研修における日ラeラーニングのインテグリティ関連全講座を修了した者は、選手向けインテグリティ講習会を受講済みと見做す。

#### 第9条（JSPO公認ライフル射撃コーチ資格更新要件）

NRA J認定B級コーチ資格を保有していないJSPO公認ライフル射撃コーチ資格保有についても、NRA J認定コーチ資格保有者と同等のインテグリティ及び射撃指導力を担保するため、JSPO公認ライフル射撃コーチ資格の更新要件について以下との通りする。

- (1) 日ラ会員であることを要件とする。
- (2) 日ラeラーニングにおける必須講習（含むインテグリティ関連科目）を修了することをJSPO公認ライフル射撃コーチ資格更新要件とする。
- (3) NRA J認定コーチ資格を保有していない場合は、日ラeラーニング利用料として、NRA J B級コーチ認定料と同額の支払いを要する。

#### 【附則】

1. 本制度の改廃は指導者育成部会において起案され理事会において行う。
2. 改訂後の本制度は、2020年2月22日より実施する。